



七月二日『ももクロぴあ』VOL 2 が発売された。この雑誌の五十〜五十四ページに、「ももかのがまの油売り口上塾」が掲載されている。

実は、五月中旬に雑誌の企画編集を担当している会社からメールがあり、「ももいろクローバーZ」のメンバーである有安杏香（ありやすももか）さんが、がまの油売り口上にチャレンジしている様子を掲載したいので、ぜひ協力願いたいとのことであった。

皆さんは、「ももいろクローバーZ」をご存知ですか？ 今やAKB 48をしのご勢いの人気グループで、昨年末のNHK紅白歌合戦にも出場したアイドル五人組である。

撮影は、六月五日の夕方から東京・中目黒にあるスタジオで行われた。杏香さんは、メンバーのなかで一番小柄な十八歳の女子大生で、あどけなさが残る美少女だった。ちなみにユニフォームは緑色である。

撮影当日は、杏香さんの都合もあり、事前打ち合わせを約一時間、本番を約一時間三十分という

ももいろクローバーZ
杏香さん、がま口上に挑戦！！
写真集の撮影にがま研の林会長が協力

強行スケジュールで行われた。限られた時間内での撮影であることからまず私が、がまの油売り口上の模範演技行い、それを見ていた杏香さんが、口上の中で特徴的な場面の数ヶ所を、実際に演じてみることで進められた。

なかでも、刀で紙を切るシーン、さらには扇子を使つての紙吹雪のシーンなどの決めポーズは、さすがにアイドル！ 初めてとは思えない演技で、カメラに納まるポーズもバツチリ！ 隣で演技指導していた私のほうが圧倒されてしまった感がある。

撮影も順調に進み、あつという間に一時間三十分が過ぎた。当初の企画案どおりに写真が撮れ、カメラマンからOKサインが出たときは、杏香さんと二人で思わず「やった！」と、ももいろクローバーZの決めポーズをしてしまった。

『ももクロぴあ』VOL 2に、「がま研ホームページ」のアドレスが掲載（文字が小さくて読みづらいかも？）されたことから、問い合わせが殺到すると思いきや、『ももクロ』ファンからの反応はほとんどなく、ホームページ担当の泉修平さんも少々ガッカリ気味・・・??



しかし、出版社には多くのファンから多数の手紙が寄せられていることをお聞きし、一安心しました。これをきっかけに、若者層の方々にも大道芸「がまの油売り口上」というものを少しでも認識していただけることを大いに期待したい！

※ちなみに、有安杏香さんが撮影に着用した衣装は、市村文子さんに協力していただきました。

（林 正一）

本を支えている手は林会長。決めポーズの写真が欲しいところ。

ほっと ホット デビュー!

今回も二名の口上デビューをご報告します

水戸教室所属 金子 賢太郎

「サアーサアサアーお立ち会い、御用とお急ぎでない方はゆっくりと聴いておいで見ておいで」筑波山名物がまの油売り口上研究会、水戸教室恒例の春場所口演が「国営ひたち海浜公園」古民家前ひろばにおいて開催されました。日程は、四月～五月で延べ十日間、つくばね会の方がたの応援をいただき計画されました。

私は今回初出演。五月四日(土)ゴールデンウィークのご真ん中。快晴に恵まれた当日、太平洋を一望する「みはらしの丘」へ上る散策路は、早い時間から人、人で数珠つなぎ。その人の列は、ほとんどが「みはらしの丘」を下りて大きな鯉のぼりが青空を雄大に泳ぐ、古民家前ひろばを経由するコースをとっています。

その古民家前ひろばは、私たち水戸教室の発表の場、また、芸を鍛練する道場のひとつでもあります。私はその日三番目に出演。中村和正さん(水戸教室)佐藤貞弘さん(つくばね会)に続いて金子賢太郎(水戸教室)。観客は毎回百人を超え、さらに人の波が絶えない状況から、中村和正さんが四番目に再出場。大変盛況な一日でした。

私がこの日を迎えられたのは、平成二十二年十月「小町の館」(土浦市)において開催された「平賀流がまの油売り口上講座」に参加、そこで「林正一」会長に出会えたことから始まります。

当時の講座日程は、四日間。内容は「口上文の内容解説」から始まり、「がまの油のルーツ」「原料と製法」といった基本的内容から入り、つぎに「徳川家と筑波山の関係」「三人の兵助から真実に迫る」「筑波山に関する伝説」といった『がまの油』を語るための歴史や時代背景が基本構成となっており、続いて「林 正一」会長、「佐藤 貞弘」事務局長の実演披露がありました。

私はこの講座に参加して、ますます習得を志す思いが募りました。講座の最終日、林会長に相談すると、那珂市に、「水戸教室」があることを教えていただき、早速「清水 泰清」先生の門を叩きました。翌年一月より、水戸教室にてご指導をいただいております。

毎月一回の練習日には、全体の動作(刀の使い方、紙の切り方、紙吹雪、腕の切り方)など実技を中心とした内容を学び、とても勉強になりました。清水先生をはじめ、水戸教室の皆様の指導のお陰をもちまして、がまの世界に入ってから二年半で、初の口演をさせていただくことができました。

ありがとうございます
ました。

自分にとって、
新たな「趣味」を
持てたことから、
新しい友人も出来
て、年代を超えた
人間関係の楽しさ
を改めて感じてい
る今日この頃です。



北条地区は昨年五月に大きな竜巻で商店街を始め、多くの家が半壊または全壊の被害を受け、現在復旧を急いでいるところです。

五月二十五日、北条方面ハイキングに参加しました。商店街駐車場で、講師の井坂敦實先生にお会いし一行十三名は、歩き始めました。

ふれあい館の元呉服店では、「店蔵の二階で花嫁支度の客を接待した。」との豪華な話や、竜巻直後の街の様子など、お茶を頂きながら伺いました。

街中を通れば目に入る高さ三メートルの道標の説明に「北条に過ぎたる物が三つある、△△屋の○○に石のぼつくり」との伝えを思い出しました。小さな道標から、登山客の多くなった正徳五年に現存のものが再建。その近くには西の市神様の祠があり、三百メートル東にある祠との間で市が立っていたそうです。二つの祠に思わず「可愛い!」

四百年前に行政区画された北条三町の一つ、新町には横井戸があり、今でも撒き水に利用され、満々と湛えられた「ユガ」に先人の智慧と脈々と受け継がれた息吹が感じられました。

ぼつくりした高台には八坂神社があり、本殿の立派なことは勿論、境内には県内で二番目に古い五輪塔も。毎年七月末の土曜日には縁者などが帰省して、増えた各町内から十台以上の山車が出て賑やかに祇園祭が行われます。

表通りを歩いた後、ほとんど平行に通っている北浦通りをU

「歴史の街北条」散策

ミドコロいっぱい、ロマンいっぱい

三ツ井 美也子

つくばね会 所属 小野寺 隆秋

みなさん、私もやつとみなさんの仲間入りができました。本当にうれしく思います。

ゴールデンウィークの五月三日、「常総あすなろの里」でデビューを終えました。これまでに実技指導を頂きました「つくばね会」の皆さん、また当日ご支援を頂きました清水会長さん他二名の先輩にはこの紙面をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

定年も過ぎて四年、何かしら地元のために活動したいと思っていたところ、「平成二十四年度がま口上講習会」を知り、茨城県は筑波山・「これだ！がまだ！」と思い受講を申し込みました。その後、実技指導等で「つくばね会」にお世話になり、今回の舞台をセツトして頂きました。

しかし、いざ口上の本番となると体の大きさは反比例し、実は心臓はバクバク、胸がドキドキ、前日には筑波山のイザナギ様とイザナミ様の両神様と、「がま石様」に成功を祈願する始末で、口上が全部言えるかどうか、動きを表現することができるとかどうか心配でたまりませんでした。

一回目は、お孫さんを連れとお爺ちゃんと親子連れの皆さん約十五名を前にして口上を披露しました。お爺ちゃん達は口上の内容に「ウンウン」と二語一句に頷いており、子供達は、興味津々という表情を浮かべていました。何とか最後の「買ったたり、買ったたり」まで無事に辿り着き、初回の口上を終えることができました。

しかし、聴衆として参加していた会長さんや、先輩の方々から「声が腹から出ていない」「動作をもつともつと大きく…たとえばゴロンゴロンと転

がる…柳の小枝でもつてトローリ、トローリはこのように…嵐山には落花の吹雪はもつと勢いをつけて…」等のアドバイスを受けました。

そして二回目は、小学生やそのお母さんの皆さん方三十名を前にこのアドバイスを肝に銘じ、声を腹から出し、諸々の動作を体の大きさを生かし堂々と大きく表現する事を心がけ披露しました。その出来映えは一回目よりは二回目と、まだまだ未熟ではありますが、格段の違いを感じました。本当に適切なアドバイスの心から感謝しています。

今回の「デビュー戦」を通じて、熟年者の一語一句に頷いている様子や、子供達のキラキラとした眼差しと興味津々の表情、腕を切るときに、「うわあー、痛そう…」と目を開いて震える仕草等を目の当たりにし、「がまの油売り口上」は、茨城県における観光名物としての歴史的な価値や、大道芸としての伝承の大切さを実感することが出来ました。



私は、今回のデビューを契機に、大いに茨城県の歴史と観光、そして文化の発展と継承のために、微力ながら全力を尽くす所存であります。

今後とも、先輩方々のご指導とご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

ターンするように、西、中台遺跡へ。飛鳥の石舞台のような巨石が露出しているその一帯は、七十基もの古墳が埋もれているとのこと。

北条小学校の東南にあるお稻荷さんは、商店街繁栄の時代に万灯・初午などのお参りも多く賑わった所です。この地に有縁の私も、幼き日シツカレを入れた藁苞を提げ祖母とお参りしたのを思い出しました。

鉄筋三階建の小学校校舎は、「味気ない…」昭和三年建設の校舎を知る者としては、「立派な玄関があり、今残っていたら文化財?…」校庭でボール遊びをする親子の声を聞きながら、日陰にて、各々持参の弁当でランチタイム。

午後の見学は。宝安寺から。境内に山田喜久次郎の碑。当地より東京に出て出世したこの人物は、がまの油製造所に縁があり、昭和五十年代にノンフィクションの一代記が出版されています。

寺の西には、商店街の防火のために掘られたという池がある。そのすぐ脇に「がまの油」関係者には見逃せない場所、今は更地となった「がまの油製造所跡」があり、「夏草や…」の句が思い出されます。

その句にぴったりの日向廃寺跡は何年か前に発掘され小さいながら宇治の鳳凰堂さんからの建造物があつたことが、礎石から明らかになりました。



多気氏菩提寺の無量院と国道近くの墓所。熊野神社、宮本家、矢中の杜など、「歴史の街北条」はミドコロいっばいロマンいっばい。井坂先生のお話「古里再発見」の楽しい一日となりました。

丸山義雄君高校同級生 北島憲介

がまの油売り口上研究会の主催による「つくば市北条歴史散歩」に丸山義雄君の誘いを受けて参加しました。当日(五月二十五日)現地九時集合、うす曇りで暑からず寒からずの絶好のウォーキング日和でした。

林会長の挨拶に続き、当日の案内者で郷土史家の井坂先生の先導で早速出発。先生手作りの資料に基づき順次案内。まず岩崎家店蔵、古い土蔵が残っているが、一部竜巻の被害で壊れていた。田村家店蔵は旧呉服店で、土間に作られた上がり座敷があつて、当時は反物を広げてお勧めしたであろうことが窺われる。現在は休憩所として観光客や、地元の方々に利用される由。

つくば道の道標は高さが三メートル余りの堂々たる道しるべで、当時の賑わいと思いきやされる。宮本家も相当栄えた商家らしく、明治時代では非常に高価だったと思われる外国製の金銭登録機や蓄音機(今でも正常に動作)等が飾られていた。

八坂神社本殿、中台遺跡と巡り、写真で見ると昔は全国何処にでもあつた懐かしい姿の北条小学校(現在は鉄筋校舎)で昼食休憩とする。

昼食後は旧道をそぞろ歩き、日向寺跡に到着。平等院・中尊寺と並び、鳳凰が羽を広げたような平安時代の遺構が見つかり、当時この地が常陸の国の中心地であつたと想像されるとの説明、納得。発掘時の立会人でもあり、本日の案内人でもある



田村家



宮本家店蔵とレジスタ



つくば道道標

ご当地出身の井坂先生、得意満面という態でした。次に当地出身の成功者である矢中氏邸宅を最後の見学地とする。広大な庭、豪壮な屋敷、何とか保存管理をと元筑波大生(松浦さん)現井上夫人が中心になり、護っているとの事。貴重なことである。地元の歴史勉強ができました。有意義な一日でした。少々疲れました。

邸を後にすると目の前に喫茶店「ポستن(POST店)、旧郵便局を改装して作った喫茶室でした。なかなか憎いコース案内。一服して本日の歴史散歩をお開きとしました。
林会長、井坂先生ありがとうございました。



歴史探訪会と忘年会

日時: 11月16日(土)~17日(日)
午後1:00 集合
歴史探訪: 石岡の旧街道散策
宿泊: 国民宿舎 つくばね
参加費: 宿泊あり...10,000円
宴会のみ... 5,000円

*詳細および参加申し込みについては往復ハガキにて後日おしらせします。予定に入れていただければ幸いです。

平成 25 年度

がま口上講座

- 開催日: ① 9月28日(土)
②10月12日(土)
③10月26日(土)
④11月 9日(土)

午前10時~正午

場所: 土浦市立『小町の館』

定員: 40名

受講料: 無料

*興味をお持ちの方がおられましたら是非お誘いください。

編集後記

あまり有難くない最高気温の更新や、寝苦しい夜、連日の熱中症注意報。それでも秋の気配が感じられるこの頃です。大汗をかきながら本号お届けできてはっとしております。水分補給を怠らず、今しばらくご自愛ください。

編集子